



470 class Japan Championships

EVENT MEASUREMENT REGULATIONS

1. 一般要件

1.1 選手権に参加するすべての艇（スパー、セール、装備を含む）はクラス規則および本インスペクション・レギュレーション、レース公示、および帆走指示書に含まれる規則に従い検査される。

1.2 大会事前計測は以下により行われる。

-WS 男子ランキングリストの 30 位以内または WS 女子ランキングの 20 位以内の乗員が使用する艇のフル計測（2 大会事前計測 で定義）

-大会チーフメジャー（ECM）が無作為に選んだカテゴリー別に数艇のフル計測。

-他の艇については、少なくとも以下を含む。：

艇の重量（クラス規則 C.6.1）、船体とセールの計測証明書への適合、クラス規則 B.3.1、C.10.3、C.10.4、D.1.4、G.2.2 及び G.3.1（船体及びセールの識別マーク）、クラス規則 F.3.5(a)(11)、(12)、F.4.3(a)(5)及び(6)（ストッパー、およびリミットマーク）。ECM (Event Chief Measurer) は、状況に応じて追加検査を要求することができる。

1.3 規則 78 に従い、競技者はクラス規則に従って艇を維持する責任がある（規則 78 の目的のために、競技者はオーナーとみなされる）。

2. 大会事前計測

2.1 艇は、テクニカル委員会(TC)が予定した通りのスケジュールに従い、全ての装備を提示しなければならない。計測の場所とスケジュールは、公式掲示板（TC 専用部）に掲示するものとする。

2.2 各艇は、以下に従い計測を受けなければならない。

-マストは倒し、艇はマスト、ブーム、スピネーカーポール、セール 1 セット、ラダー、ティラー、センターボード、および重量計測のためにクラス規則によって搭載が必要とされる他の全ての装備を伴う。

-艇のコレクターウェイト（補正錘）は取り外していること。

-マストは、スプレッダーを取り付けた状態で、スタンディングリギンを下部計測バンド付近で軽く固定した状態。ハリ

- ヤードはセーリングポジションになければならない。マストヘッドウインドインジケータがあればそれを取り除く、
- ハルは空で、乾燥した状態で、検査のために全てのインスペクションポートカバーを外しておく。
- ハルには、クラス規則で要求される識別マークがなくてはならない、
- ハル、セール、スパー、装備にはクラス規則に規定されているすべての計測点、バンド、ステッカー、ラベルがなくてはならない。

2.3 クラスルールによりセール、スパー、フォイルの数は以下を超えてはならない：

- メインセール 1、ジブ 1、スピネーカー 1
- マスト 1、ブーム 1、スピネーカーポール 1
- センターボード 1、ラダー 1

クラス規則 B.3.1 で要求されるセールボタン/ステッカーのないセール、またはセール番号、470 級のエンブレムのないセールは検査されない。クラス規則に規定されている通り、競技者によって提供される全てのセールは、計測所に来る前にクラス規則に従って、証明されていなければならない。

- 2.4 それぞれの艇はメジャメントフォームを含む計測証明書（MC/MF）を持参しなければならない。MC/MF は、大会終了まで、ECM によって保持されることがある。MC/MF がコピーである場合は、その信頼性は、発行機関のオリジナルスタンプと署名が確認されなければならない。
- 2.5 正しく計測するために十分な乾燥状態にないもの、検査中にクラス規則に適合しないことが判明したものは、ECM の裁量で、それが十分になるまで検査されない。
- 2.6 チームコーチ、チームマネージャー、またはその代表者と艇の乗員のみが艇の計測に立ち会うことが許される。またこれらの者の少なくとも 1 名が立ち会わなければならない、規則に不適合したものを是正するか、または艇を大会から引き上げる権限を与えられなければならない。
- 2.7 ECM の認可を受けていない限り、艇、装備、セールの修理または改造などを計測区域内で行ってはならない。
- 2.8 検査の対象となる全ての装備には、ポート側に公式検査マーク又はスタンプ（防水インク）が付される。マークを施された後、各艇の乗員は、検査されたすべての装備が適切にマーキングされ、マークされた装備のどれもが ECM の事前の承認なしに変更されないことを宣言する装備検査用紙に署名する必要がある。このように表示されていない装備を使用してはならない。磨耗によりマークが消え始めた場合、その事実を TC に報告し、マークを交換することができる。

3. 大会事前計測の手順

- 3.1 チームマネージャーまたは競技者は、計測の時間割にセール番号を記入することにより計測順を申請しなければならない。大会事前計測初日の前日の 16：00 に、タイムテーブルを公式掲示板（TC 専用部）に掲示する。このタイムテーブルには、競技者が選ぶことができる十分な数の空き時間がリスト上に書かれている（各艇の検査は平均 10 分程度）。上記の艇及び装備は、指定された時刻に現れなければならない。各艇の検査は平均 10 分程度を予定しているが多少増減することがある。
- 3.2 艇の代表者は、指定時刻の 10 分前に、艇、セール、スパー、装備、計測証明書、メジャメントフォーム、検査用紙を持って計測場所にいなければならない。
- 3.3 すべての検査終了時、検査が終了したことを示す書類に艇の代表者と ECM が署名する。各艇はこの書類を持って大会受付を行うこと。

4. 検査が済んだ艇および装備の変更

- 4.1 ハル、スパー、セール及びその他装備が大会事前計測を通過し、リミテーションマークが付されている場合、ECMの書面による許可なしにレガッタエリアから出てはならない。
- 4.2 変更：艇が大会事前計測を完了した後、通常予定されているフィッティングと整備の調整を除き、変更は行われてはならない。
- 4.3 修理：大会事前計測を経た後、艇、セールまたは装備の修理を希望する競技者は、TC または RC（TC 不在の場合）に申請するものとする。許可が与えられた場合、関係する競技者は、修理を TC または RC が承認する時間を確保しなければならない。
- 4.4 交換：ボート、セール、スパーまたは使用する装備の交換の申請は、TC または RC（TC 不在の場合）に提出されなければならない。セール、スパーまたは装備が深刻な損傷を受け、故意に酷使されておらず、可能な時間内に十分に修理できないことが証明された場合にのみ承認される。新しい装備は使用前に TC または RC（TC 不在の場合）によって検査されなければならない。
ただし、レースの直前に装備が失われたり、破損したり交換されたり修理されたりした場合、競技者はレース開始前に ECM、他の TC メンバーまたはレース委員、ジュリーに伝え、レースが終了し、陸上に到着後直ちに、抗議締切時刻までに、上記に記載の通り、TC または RC へ申請しなければならない。

5. レース後の計測検査

- 5.1 すべての艇はレガッタ中にいつでも、TC によってボート、スパー、セール、機材および乗員の衣服および装備を検査されることがあり、違反があれば TC によって抗議される。
- 5.2 各レース後に、TC によってランダムに選択された競技者が、水上または陸上で検査のために選ばれたことを TC のメンバーが通知することができる（そのような検査のための特別にあらかじめ割り当てられた領域を指定できる）。後者の場合、艇はフィニッシュ・エリアから誘導され、陸上に戻った後、できるだけ早く検査されなければならない。
- 5.3 乗員の少なくとも 1 人の代表者は、艇の検査の間、立ち合うことが要求される。濡れた状態のため、クラス規則で要求される最低重量を船が乾いた状態で超えていると TC の代表者が確信できない場合、翌朝のレース前に軽量のために艇を拘束することができる。
- 5.4 クラス規則に規定されている測定値と異なる場合、または TC の代理人が事前の承認なしに装備の改造、修理または交換を行ったと判断する理由がある場合、ECM の要請に応じてテクニカル委員会は抗議しなければならない。